



平成 29 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社メディア工房
代表者名 代表取締役社長 長沢 一男
(コード：3815 マザーズ)
問合せ先 管理部長 長沢 和宙
(TEL. : 03-5549-1804)

通期業績予想の修正及び特別損失計上見込みに関するお知らせ

当社は、平成 29 年 7 月 26 日（水）開催の取締役会において、以下のとおり、平成 28 年 10 月 7 日付開示の「平成 28 年 8 月期 決算短信」の発表時に合わせて開示した平成 29 年 8 月期（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）の業績予想を修正することを決議しましたのでお知らせいたします。また、本修正に伴い、特別損失を計上する見込みとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1 株当たり 連結当期純利益 (円)
前回予想発表 (A)	2,500	180	180	108	10.62
今回修正予想 (B)	2,230	▲50	▲58	▲134	▲11.88
増減額 (B-A)	▲270	▲230	▲238	▲242	—
増減率 (%)	▲10.8	—	—	—	—
(参考) 前回連結実績 (平成28年8月期)	1,940	26	▲60	▲139	▲13.04

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の連結売上高におきましては、既存古いコンテンツの売上不振、並びに子会社ルイスファクトリーにおいて、セカンダリー新規運営本数が当初計画していた本数を下回ったこと等が要因となり、前年同期比増ながらも、期末時点において平成28年10月7日付で開示した平成29年8月期の通期業績予測数値に及ばない見通しとなりました。

また、連結営業利益におきましては、既存古いコンテンツの売上不振に伴う収益の圧迫、当期より開始したセカンダリー事業による売上原価の増加のほか、前期リリースを行ったOBOKAID'EMタイトルの減損損失合計25百万円を計上しております。

以上のことから、当社は、平成28年10月7日付で開示した平成29年8月期の通期業績予測を下方修正いたしました。

なお、本下方修正においては、売上高及び営業利益の修正に加え、現在進行中の案件を含め、各事業内容を厳に精査し、子会社ルイスファクトリーにおける制作途上ゲームの一部を償却する他、不採算事業として、当社ゲームブランドであるOBOKAID'EMの撤退を行うことを決定いたしました。これにより特別損失を計上する見込みとなり、親会社株主に帰属する当期純利益が大幅に下方修正されておりますが、これは来期収益の拡大を目的としたものであります。

当該数値は、様々なリスク等を勘案して策定しておりますが、市場の変化等により当該連結業績予想に修正の可能性が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

3. 特別損失に計上すると見込まれる金額

金額:171百万円

内容:OBOKAID'EMの事業撤退

計上時期:当期末

4 その他

今後当社グループにおけるゲーム事業は、ルイスファクトリーにおけるセカンダリー事業を中心に行っている予定です。

なお、ルイスファクトリーにおける既存セカンダリーゲームのIPを活用した新規タイトルに関しては、夏頃のリリースを予定しておりましたが、質の高さを優先するため、企画から見直すものとし、現時点においては冬頃のリリースに予定を変更しております。

以上